

原子力 ワンポイント

日本の放射線・放射能基準
——福島第一原発事故(番外編⑨)



ガンになりやすいのは「タバコ」と「成人期の食事・肥満」が一番で、千ミリSv以上の放射線を浴びないと「タバコ」のリスクは超えません。二百ミリSvの放射線を浴びた場合は、「運動不足」の場合とほぼ同程度で、「肥満」の場合よりガンになるリスクは低くなります。

Gen-kun 放射線を浴びると将来ガンになると母さんが心配していたよ。

カワさん 放射線は目に見えないから、特に心配になるよね。国立がん研究センターのホームページには、ガンになる原因因子の分析結果が出ていて、一番は「タバコ」と「成人期の食事・肥満」で全体のそれぞれ三〇%で、

このふたつで半分以上を占めています。その次が運動不足などで五%の割合になっています。Gen-kun 放射線の割合はどのくらいなの。カワさん 放射線の割合はどのくらいなの。外線で二%となっていて、これは環境汚染・アスベストの二%と同じ割合です。しかし、放射線・紫外線の二%は普通の状態での割合なので、放射線を多く浴びると割合は変わって

きます。Gen-kun 放射線が多くなった場合にガンになる研究はあるの。カワさん 国立がん研究センターでは、ガンになるリスクの割合を生活習慣と放射線の線量で対比した結果を公表しています。その結果によると、たばこを吸う人は毎日三合以上お酒を飲む人と同じで、ガンになるリスクが一・六倍になります。これより高いリスクは千〜二千ミリSvの放射線を浴びた場合で、一・八倍になります。百ミリSv未満の放射線を浴びた場合と

飲酒や喫煙に放射線以上の発がんリスク

の放射線を浴びた場合は一・四倍で、毎日二合以上お酒を飲む人と同じです。肥満の場合は一・二二倍で、二百〜五百ミリSvの放射線を浴びた場合の一・一九倍より高くなっています。少し幅があります。が、運動不足の場合は一・一五〜一・一九倍で、二百〜五百ミリSvの放射線を浴びた場合とほぼ同じか若干低くなっています。百ミリSv未満の放射線を浴びた場合と

放射能と生活習慣によってガンになるリスク

要因	ガンになるリスク
1,000~2,000ミリシーベルトを浴びた場合	1.8倍
喫煙者	1.6倍
毎日3合以上飲酒	1.4倍
500~1,000ミリシーベルトを浴びた場合	1.29倍
毎日2合以上飲酒	1.22倍
やせすぎ	1.19倍
肥満	1.15~1.19倍
200~500ミリシーベルトを浴びた場合	1.11~1.15倍
運動不足	1.08倍
塩分の取りすぎ(高塩分食品)	1.06倍
100~200ミリシーベルトを浴びた場合	1.02~1.03倍
野菜不足	
受動喫煙	

(国立がん研究センター調べ)

放射線を増加するデータは検出できないので、(原産協会・政策推進部) 今後の研究に期待しましょう。